

能勢町介護保険事業所アンケート
報告書(案)

第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて

令和 8(2026)年 月

能勢町

目 次

(1) 調査概要.....	1
(2) 調査結果.....	1
問1 貴事業所の経営形態についてお答えください.....	1
問2 貴事業所が主として実施しているサービスはどれですか.....	1
問3 貴事業所の所在地を教えてください.....	2
問4 貴事業所の職種ごとの従業員数について、人数をご記入ください.....	2
問5 貴事業所の従業員について、年齢構成をご記入ください.....	3
問6 貴事業所の職種ごとの従業員の過不足の状況について、どのようにお感じですか.....	3
問7 貴事業所が従業員を確保するにあたり、どのような取組をされていますか.....	4
問8 問7で○をした取組のうち、効果のあった取組はどれですか.....	5
問9 貴事業所の利用者からの利用申込への対応はどうですか.....	6
問10 貴事業所は利用者からの依頼に対して、サービス提供できなかったことがありますか.....	7
問10-① サービス提供できなかった理由.....	7
問11 貴事業所の経営状況はいかがですか.....	7
問11-① 赤字の主な理由は何ですか.....	8
問12 介護人材の確保・育成で、どのようなことを町に取り組んでほしいですか.....	8
問13 第10期介護保険事業計画期間中の、貴事業所の事業運営の方向性についてお答えください.....	10
問14 能勢町で事業を実施する際の課題は何ですか.....	12
問15 能勢町で不足していると感じる介護保険サービスは何ですか.....	14
問16 これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか.....	16
(3) 考察.....	17
1.介護保険事業所の抱える課題.....	17
2.サービス供給体制整備に向けた検討課題.....	17

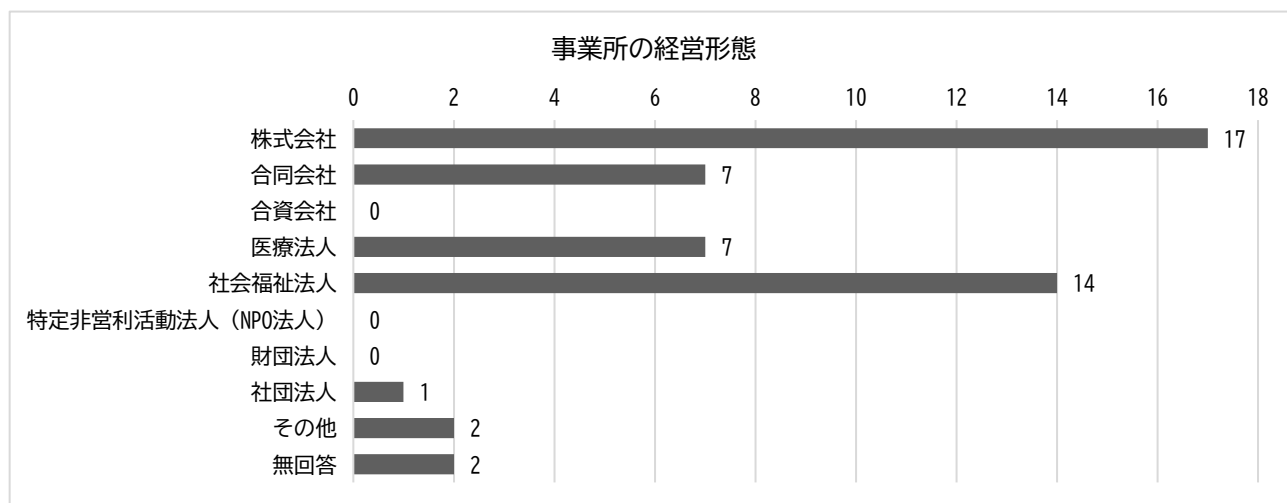
(1) 調査概要

対象事業所	84(町内 36, 町外 48)
有効回答数	50
回収率	59.5%

(2) 調査結果

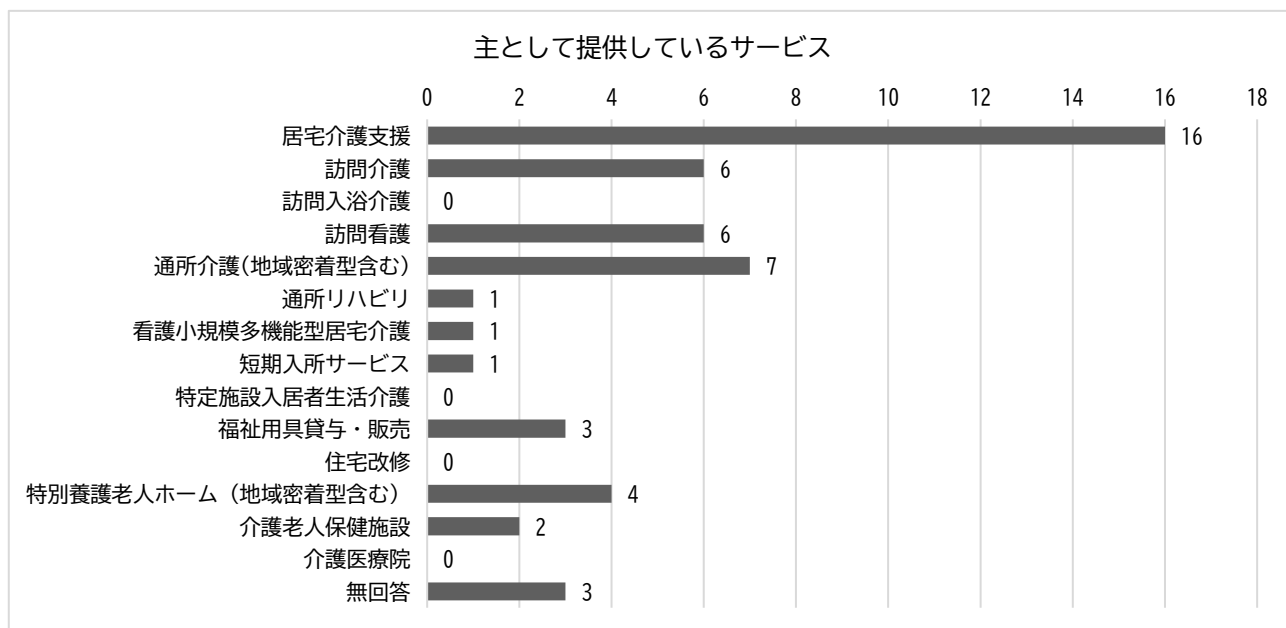
問1 貴事業所の経営形態についてお答えください

「株式会社」が 17 事業所と最も多く、次いで「社会福祉法人」が 14 事業所、「合同会社」「医療法人」が共に 7 事業所となっています。



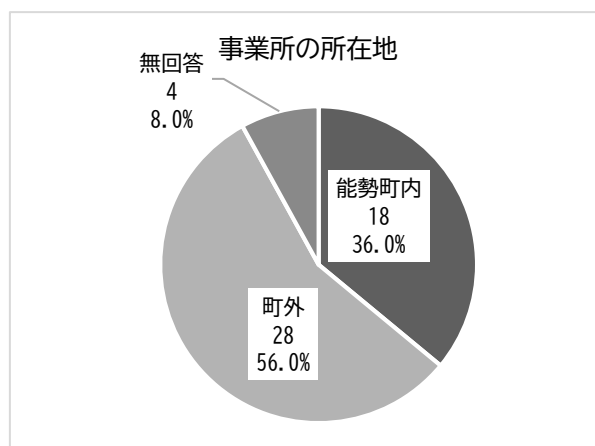
問2 貴事業所が主として実施しているサービスはどれですか

「居宅介護支援」が 16 事業所と最も多く、次いで「通所介護(地域密着型含む)」が 7 事業所、「訪問介護」「訪問看護」が共に 6 事業所、「特別養護老人ホーム(地域密着型含む)」が 4 事業所となっています。



問3 貴事業所の所在地を教えてください

「能勢町内」が 18 事業所(36.0%)、「町外」が 28 事業所(56.0%)となっています。

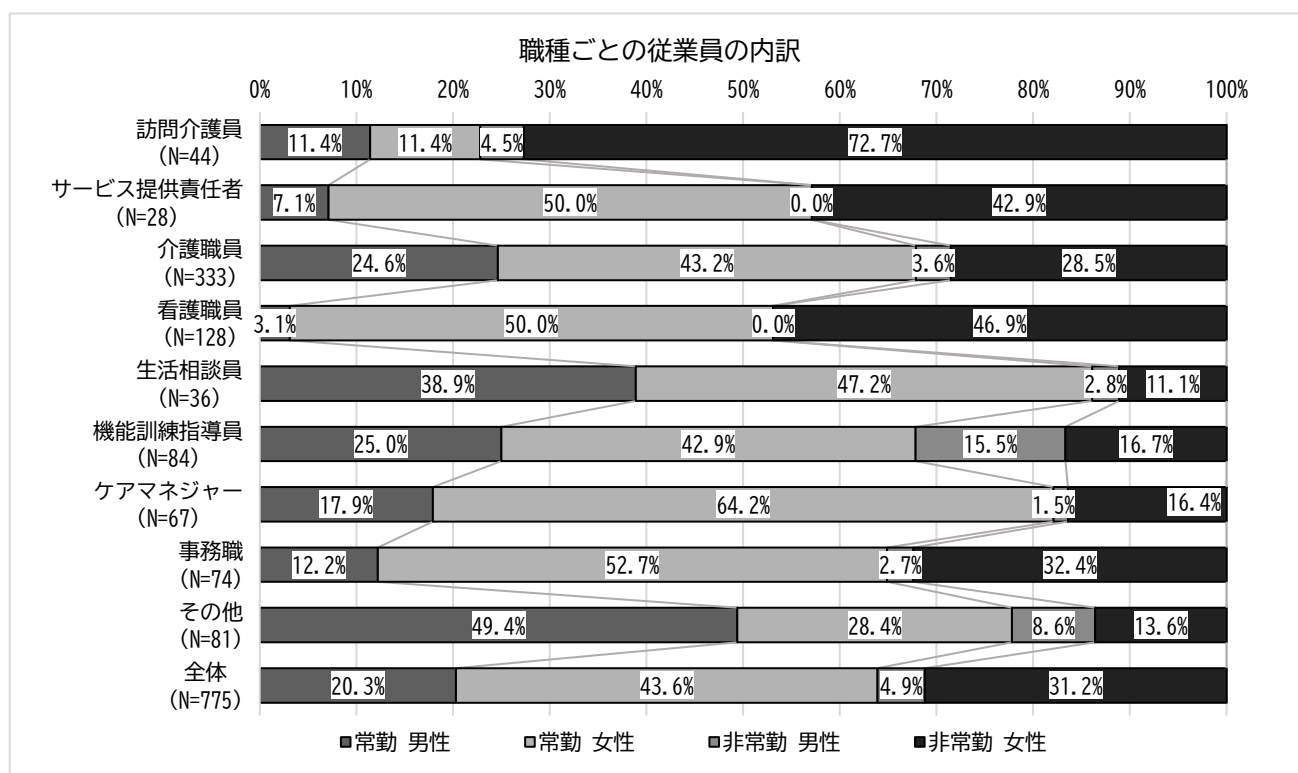


問4 貴事業所の職種ごとの従業員数について、人数をご記入ください

職種ごとの従業員数は「介護職員」が 333 人ともっとも多く、次いで「看護職員」が 128 人、「機能訓練指導員」が 84 人となっています。

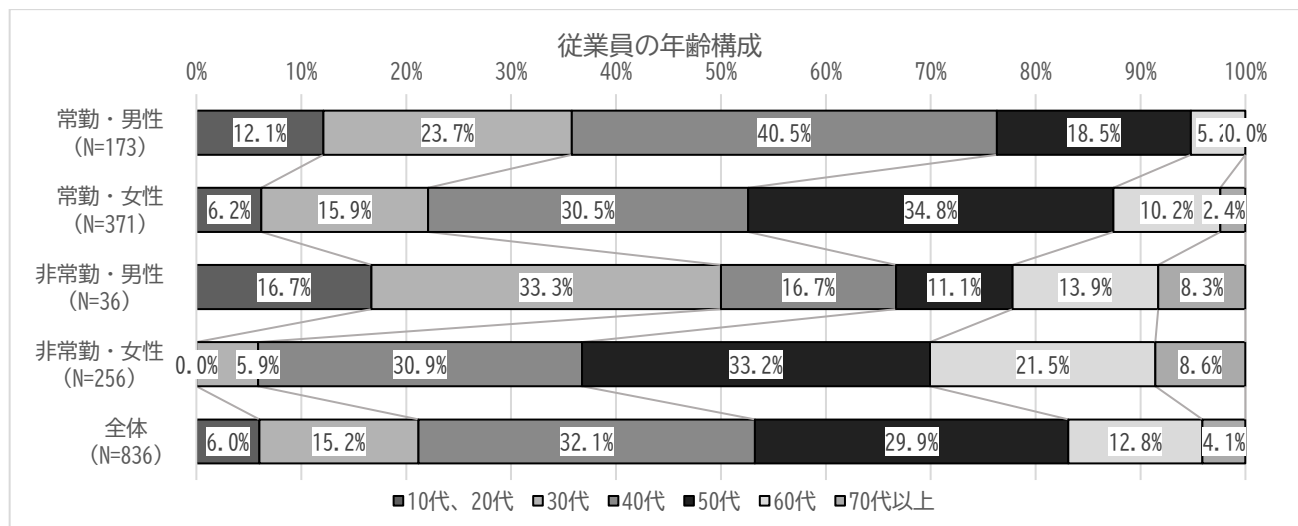
常勤職員の占める割合は就業員全体では 63.9%となっていますが、職種別では「生活相談員」が 86.1%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」が 82.1%、「その他」が 77.8%、「機能訓練指導員」が 67.9%に対し、「訪問介護員」は 22.8%と、職種間で大きなばらつきがみられます。

女性従業員は就業員全体の 74.8%を占めており、職種別では「看護職員」の 96.9%、「サービス提供責任者」の 92.9%、「訪問介護員」の 84.1%、「ケアマネジャー」の 80.6%、「介護職員」の 71.7%と、介護や看護に関わる職種に多くの女性が従事しています。



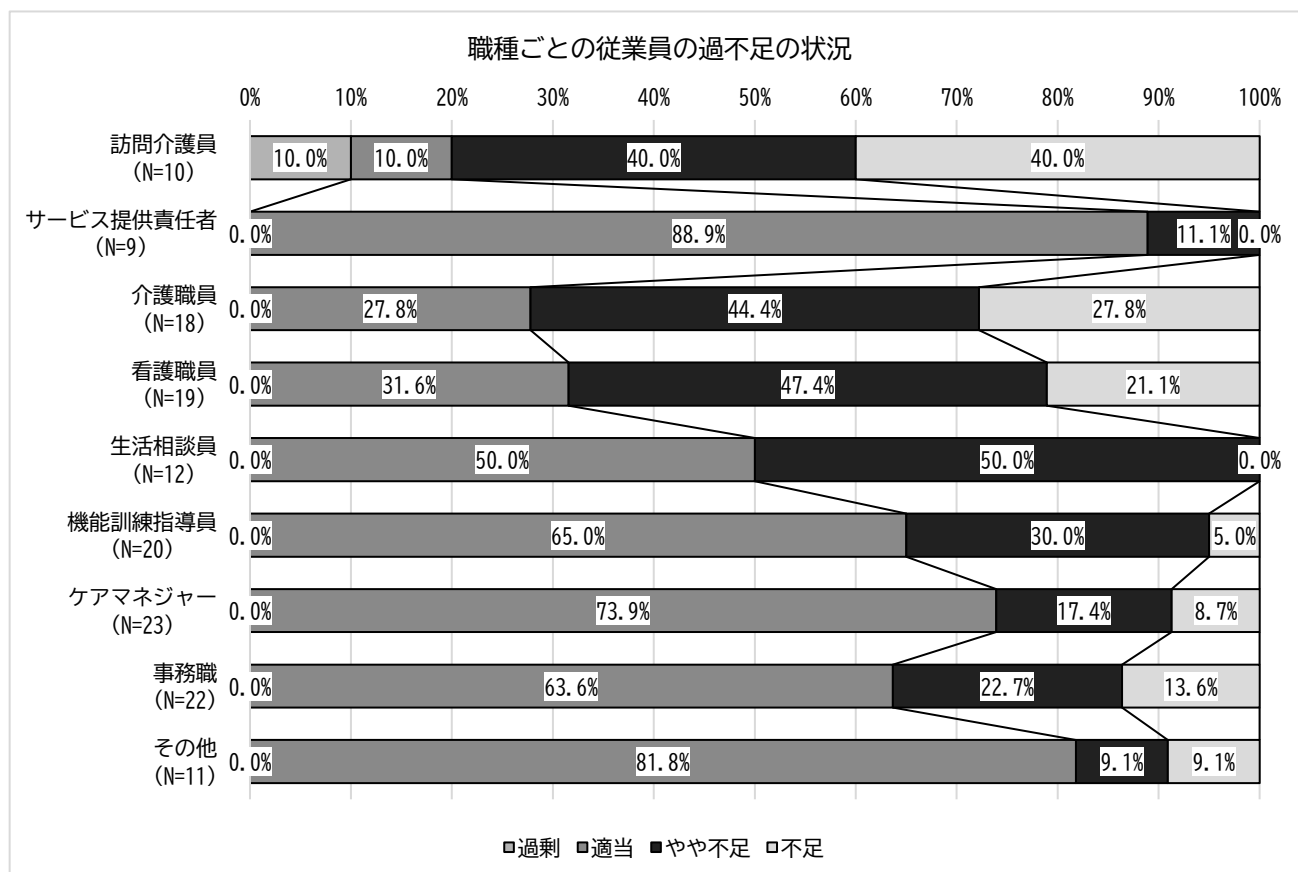
問5 貴事業所の従業員について、年齢構成をご記入ください

従業員全体では「40代」(32.1%)、「50代」(29.9%)が多く、「常勤・男性」は「40代」(40.5%)、「常勤・女性」は「50代」(34.8%)、「40代」(30.5%)、「非常勤・男性」は「30代」(33.3%)、「非常勤・女性」は「50代」(33.2%)、「40代」(30.9%)が多くなっています。



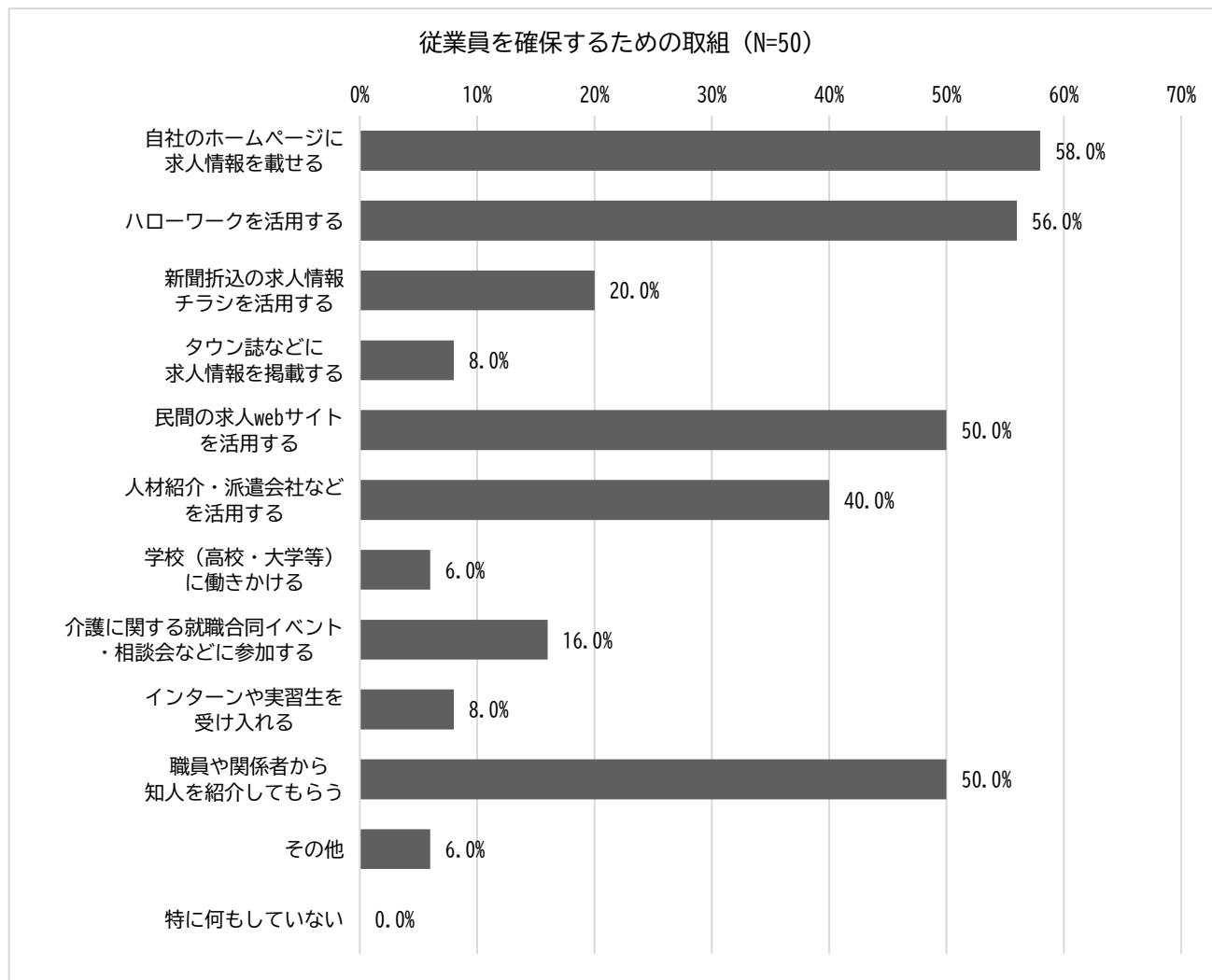
問6 貴事業所の職種ごとの従業員の過不足の状況について、どのように感じですか

従業員が不足している(「やや不足」「不足」の合計)と感じている事業所を職種ごとに見ると、「訪問介護員」は10事業所の内80.0%、「介護職員」は18事業所の内72.2%、「看護職員」は19事業所の内68.5%、「生活相談員」は12事業所の内50.0%となっています。



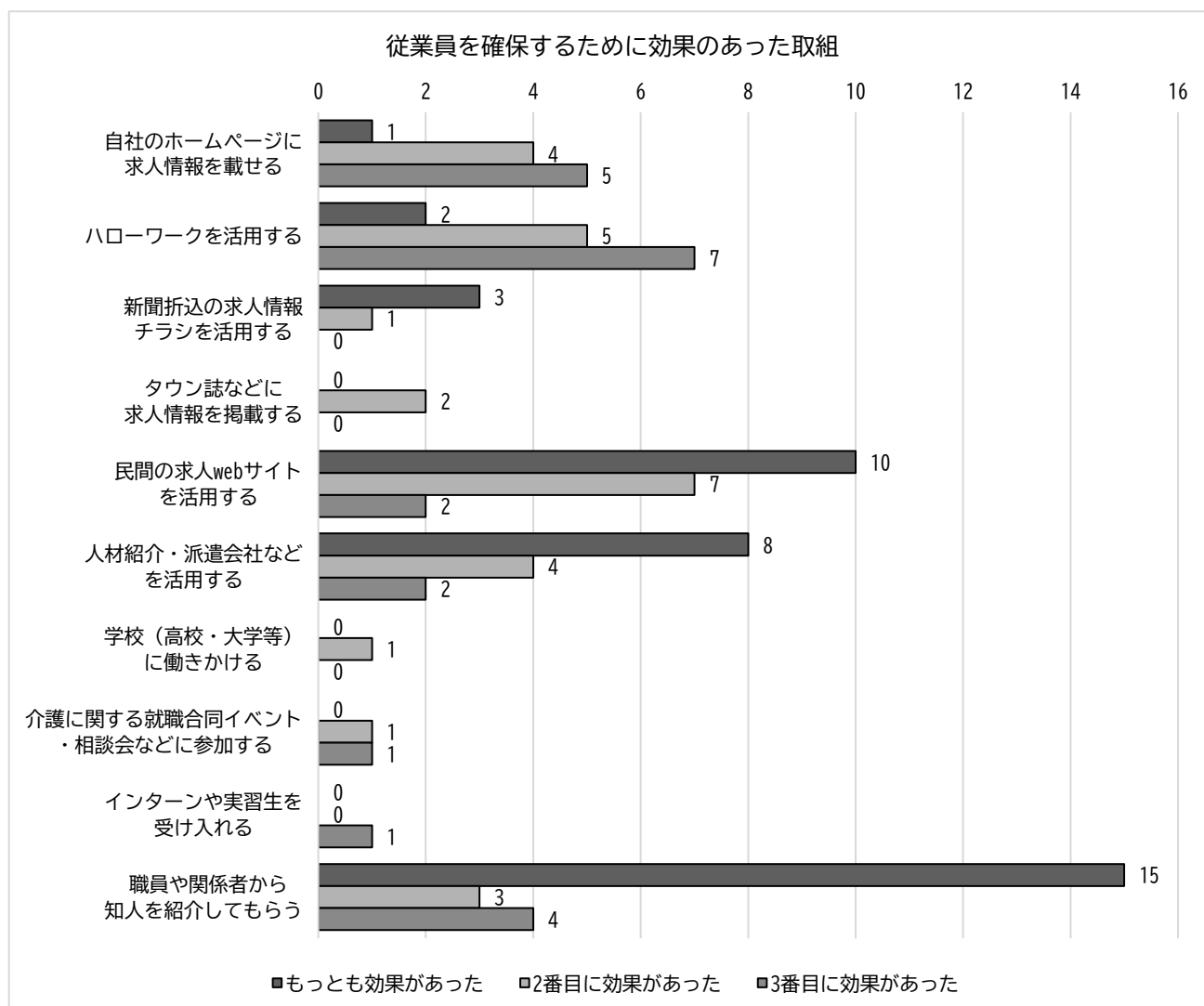
問7 貴事業所が従業員を確保するにあたり、どのような取組をされていますか

「自社のホームページに求人情報を載せる」が 58.0%と最も多く、次いで「ハローワークを活用する」が 56.0%、「民間の求人 web サイトを活用する」「職員や関係者から知人を紹介してもらう」が共に 50.0%、「人材紹介・派遣会社などを活用する」が 40.0%となっています。



問8 問7で○をした取組のうち、効果のあった取組はどれですか

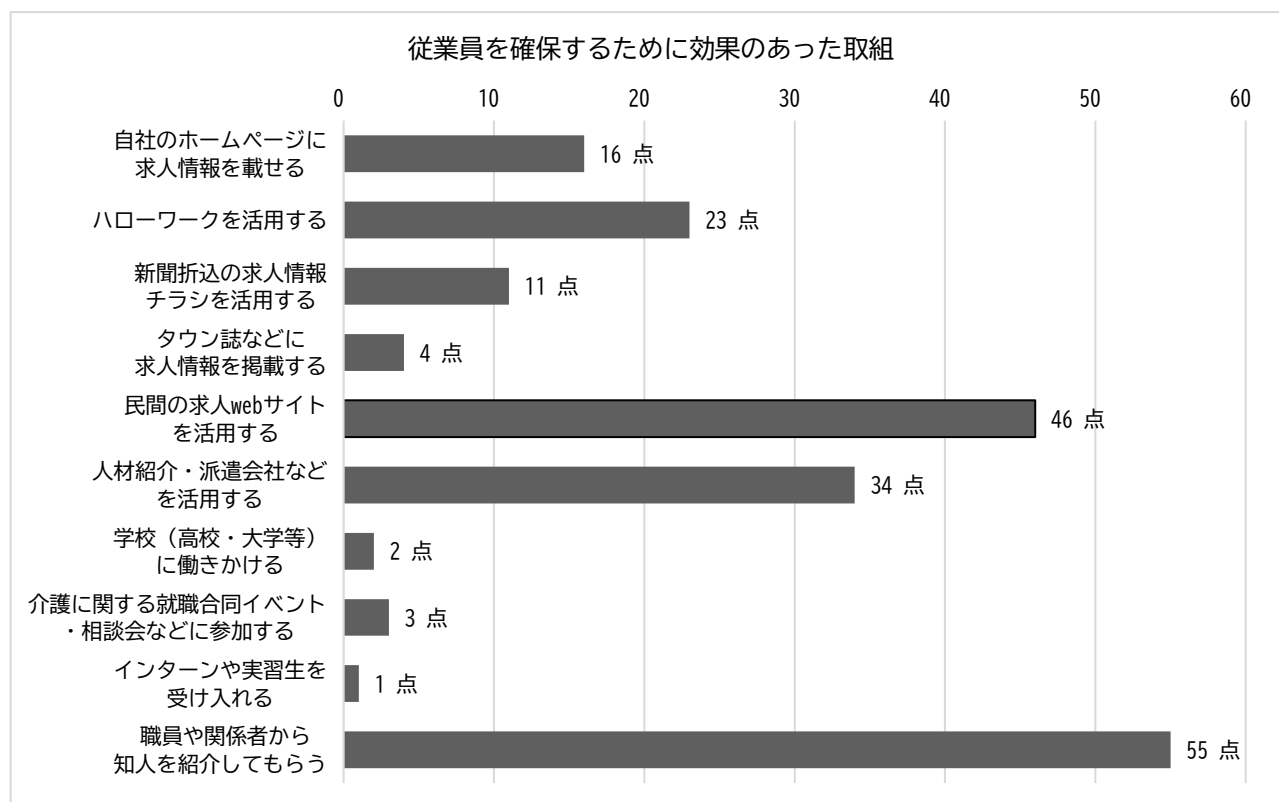
「もっとも効果があった」は「職員や関係者から知人を紹介してもらう」が 15 事業所と最も多く、次いで「民間の求人 web サイトを活用する」が 10 事業所、「人材紹介・派遣会社などを活用する」が 8 事業所、「2 番目に効果があった」は「民間の求人 web サイトを活用する」が 7 事業所と最も多く、次いで「ハローワークを活用する」が 5 事業所、「人材紹介・派遣会社などを活用する」「自社のホームページに求人情報を載せる」が共に 4 事業所、「3 番目に効果があった」は「ハローワークを活用する」が 7 事業所と最も多く、「自社のホームページに求人情報を載せる」が 5 事業所、「職員や関係者から知人を紹介してもらう」が 4 事業所となっています。



従業員を確保する取組を（最も効果があったと回答した事業所数×3）+（2 番目に効果があったと回答した事業所数×2）+（3 目に効果があったと回答した事業所数×1）として得点化し、比較検討しました。

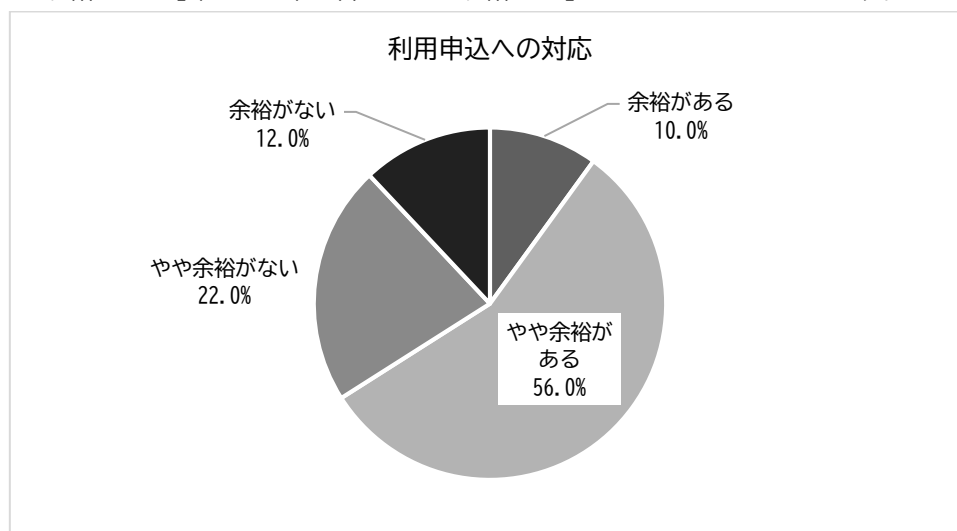
得点が高く、効果が高いと思われる取組は以下の通りです。

取組	得点
1. 職員や関係者から知人を紹介してもらう	55 点
2. 民間の求人 web サイトを活用する	46 点
3. 人材紹介・派遣会社などを活用する	34 点
4. ハローワークを活用する	23 点



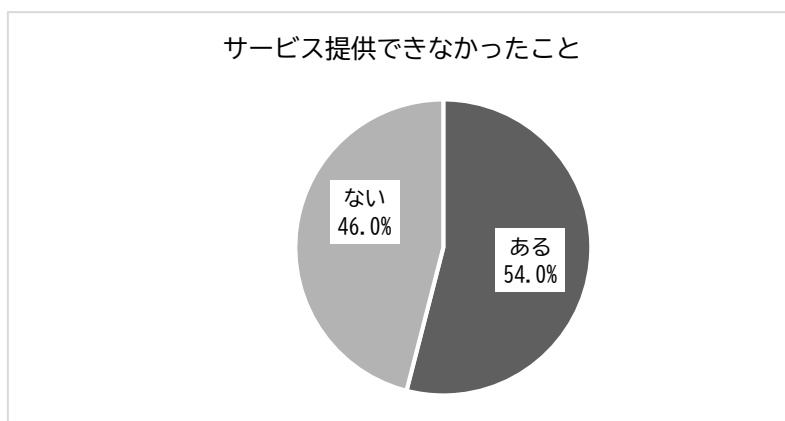
問9 貴事業所の利用者からの利用申込への対応はどうか

「余裕がある」(10.0%)と「やや余裕がある」(56.0%)を合わせた「余裕がある」は 66.0%、「やや余裕がない」(22.0%)と「余裕がない」(12.0%)を合わせた「余裕ない」は 34.0%となっています。



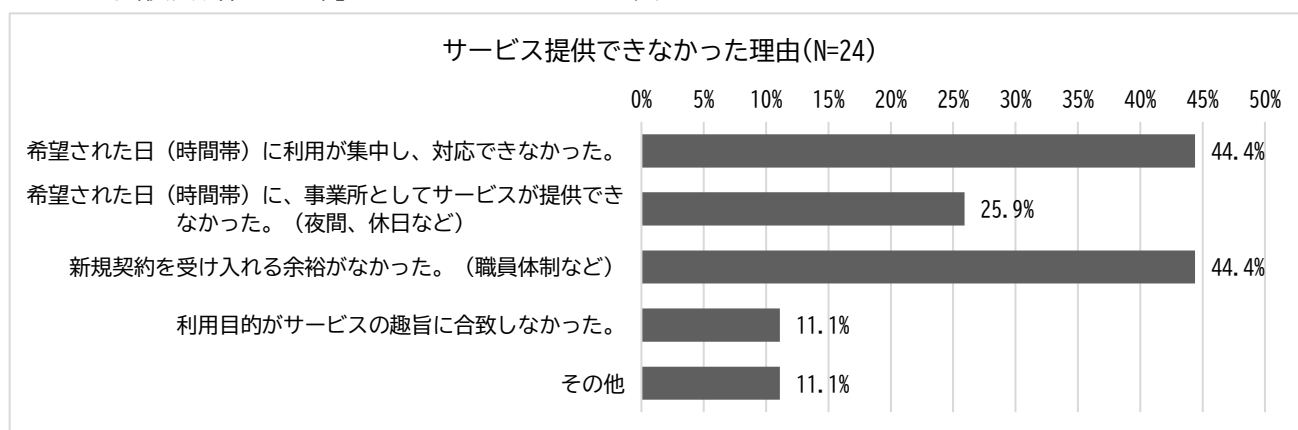
問 10 貴事業所は利用者からの依頼に対して、サービス提供できなかったことがありますか

「ある」が 54.0%、「ない」が 46.0%となっています。



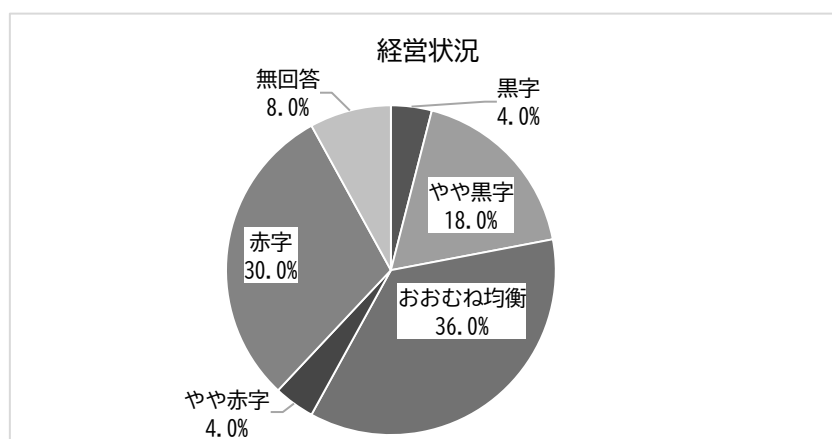
問 10-① サービス提供できなかった理由

「希望された日(時間帯)に利用が集中し、対応できなかった」「新規契約を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)」が共に 44.4%ともっとも多く、次いで「希望された日(時間帯)に、事業所としてサービスが提供できなかった。(夜間、休日など)」が 25.9%となっています。

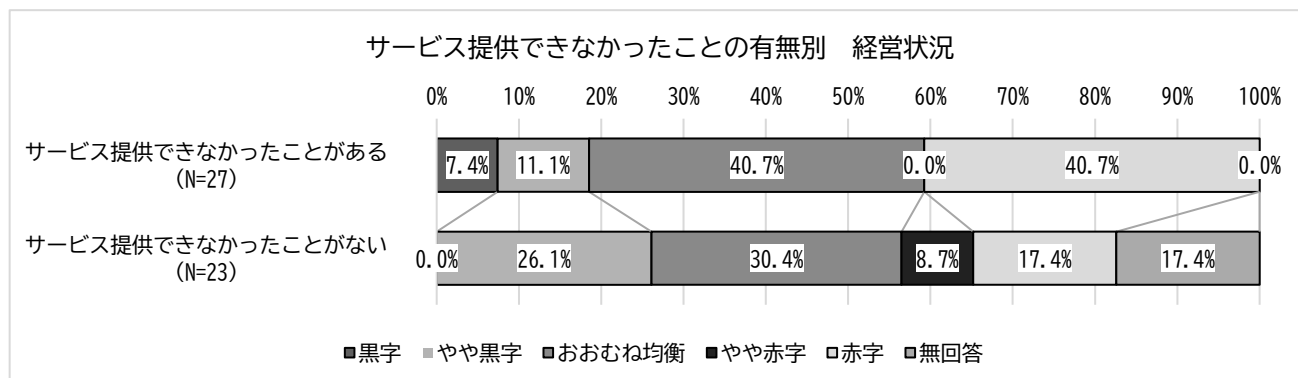


問 11 貴事業所の経営状況はいかがですか。

「黒字」(4.0%)と「やや黒字」(18.0%)を合わせた「黒字」が 22.0%、「おおむね均衡」が 36.0%、「やや赤字」(4.0%)と「赤字」(30.0%)を合わせた「赤字」が 34.0%となっています。

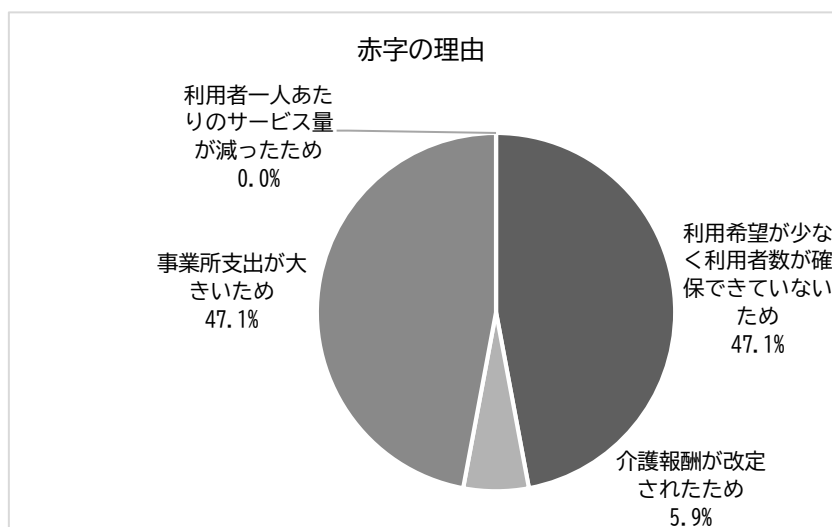


「黒字」と「やや黒字」を合わせた黒字経営の事業所は、サービス提供できなかったことがない事業所が 26.1%に対し、サービス提供できなかったことがある事業所は 18.5%と、サービス提供できなかったことがない事業所がある事業所を 7.6 ポイント上回り、反対に「やや赤字」と「赤字」を合わせた赤字経営の事業所は、サービス提供できなかったことがある事業所が 40.7%に対し、サービス提供できなかったことがない事業所は 26.1%と、サービス提供できなかったことがある事業所がない事業所を 14.6 ポイント上回っています。



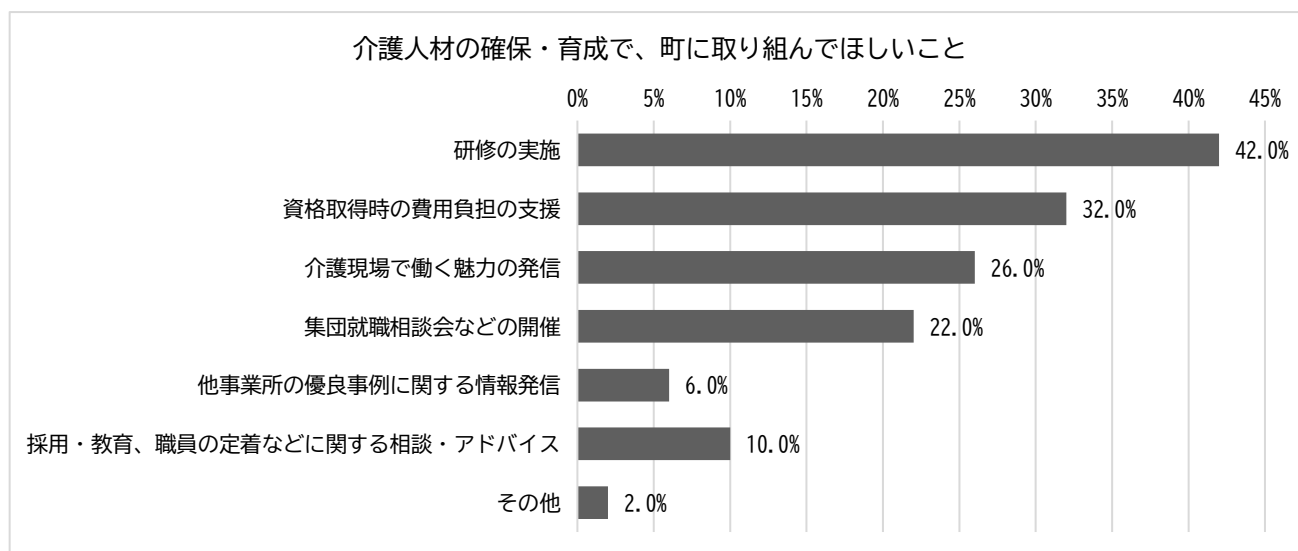
問 11-① 赤字の主な理由は何ですか。

「利用希望が少なく利用者数が確保できていないため」「事業所支出が大きいため」が共に 47.1%となっており、この 2 大理由で 94.1%を占めています。



問 12 介護人材の確保・育成で、どのようなことを町に取り組んでほしいですか

「研修の実施」が 42.0%と最も多く、次いで「資格取得時の費用負担の支援」が 32.0%、「介護現場で働く魅力の発信」が 26.0%となっています。



問 13 第 10 期介護保険事業計画期間中の、貴事業所の事業運営の方向性についてお答えください

「能勢町内に事業所を新しく開設することを検討している」は「居宅介護支援」が 2 事業所、「能勢町外に事業所を新しく開設することを検討している」は「訪問介護」が 2 事業所、「訪問看護」が 2 事業所、「居宅介護支援」が 2 事業所となっています。

また、「縮小する」は「通所介護(地域密着型含む)」が 1 事業所、「休止もしくは廃止する」は「訪問介護」が 3 事業所、「訪問型サービス(総合事業)」が 2 事業所のほか、「居宅療養管理指導」「特定施設入居者生活介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」「介護老人保健施設」「訪問入浴介護」「認知症対応型通所介護」「小規模多機能型居宅介護」「認知症高齢者グループホーム」「福祉用具貸与」「福祉用具販売」「通所型サービス(総合事業)」「訪問看護」「複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)」「通所介護(地域密着型含む)」は各 1 事業所となっています。

	実施していない		実施している			
	能勢町内に事業所を新しく開設することを検討している	能勢町外に事業所を新しく開設することを検討している	現在の事業所の事業を充実させる(定員の増、人員の増など)	現状を維持する	縮小する	休止もしくは廃止する
訪問介護	-	2	2	4	-	3
訪問入浴介護	-	-	-	1	-	1
訪問看護	-	2	1	2	-	1
訪問リハビリ	-	-	-	2	-	-
居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	1
通所介護(地域密着型含む)	-	-	1	6	1	1
通所リハビリ	-	-	-	4	-	-
短期入所サービス	-	-	-	6	-	-
特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	1
福祉用具貸与	-	-	3	-	-	1
福祉用具販売	-	-	3	-	-	1
居宅介護支援	2	2	1	13	-	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	1
夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	1
認知症対応型通所介護	-	-	-	1	-	1
小規模多機能型居宅介護	-	-	-	1	-	1
認知症高齢者グループホーム	-	-	-	1	-	1
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)	-	-	-	6	-	1
特別養護老人ホーム(地域密着型含む)	-	-	-	3	-	-
介護老人保健施設	-	-	-	-	-	1
訪問型サービス(総合事業)	-	-	1	1	-	2
通所型サービス(総合事業)	-	-	-	3	-	1

《赤字経営と回答した事業所の方向性》

「能勢町外に事業所を新しく開設することを検討している」は「訪問介護」が2事業所、「訪問看護」は2事業所、「居宅介護支援」は1事業所となっています。

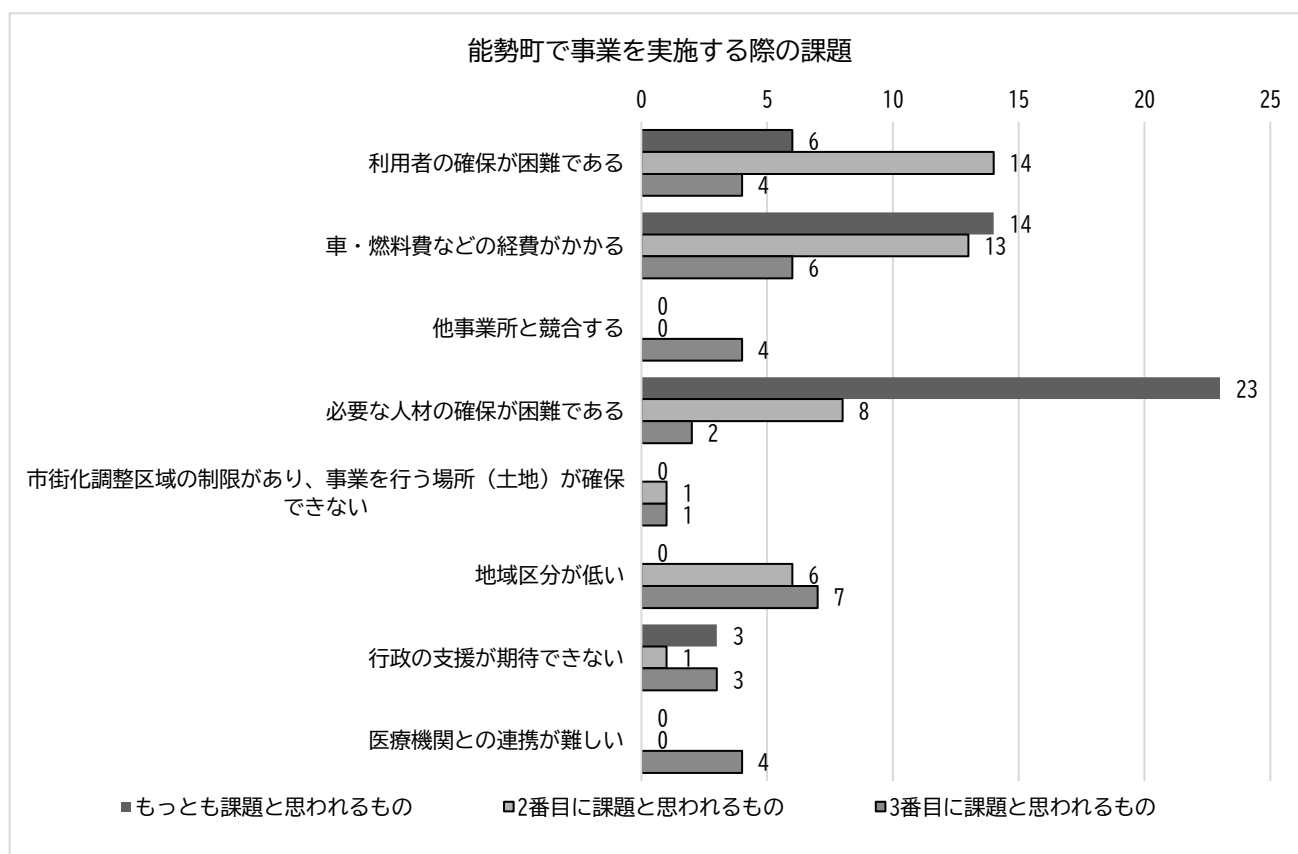
「現在の事業所の事業を充実させる」は「訪問介護」が1事業所、「通所介護(地域密着型含む)」が1事業所、「現状を維持する」は「居宅介護支援」が6事業所、「訪問介護」が3事業所、「通所介護(地域密着型含む)」が2事業所のほか、「短期入所サービス」「認知症対応型通所介護」「小規模多機能型居宅介護」「認知症高齢者グループホーム」「複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)」「訪問型サービス(総合事業)」「通所型サービス(総合事業)」が各1事業所となっています。

また、「縮小する」はなく、「休止もしくは廃止する」は「訪問介護」が2事業所、「訪問型サービス(総合事業)」が1事業所となっています。

	実施していない			実施している		
	能勢町内に事業所を新しく開設することを検討している	能勢町外に事業所を新しく開設することを検討している	現在の事業所の事業を充実させる(定員の増、人員の増など)	現状を維持する	縮小する	休止もしくは廃止する
訪問介護	-	2	1	3	-	2
訪問入浴介護	-	-	-	-	-	-
訪問看護	-	2	-	-	-	-
訪問リハビリ	-	-	-	-	-	-
居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-
通所介護(地域密着型含む)	-	-	1	2	-	-
通所リハビリ	-	-	-	-	-	-
短期入所サービス	-	-	-	1	-	-
特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-
福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-
福祉用具販売	-	-	-	-	-	-
居宅介護支援	-	1	-	6	-	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-
夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-
認知症対応型通所介護	-	-	-	1	-	-
小規模多機能型居宅介護	-	-	-	1	-	-
認知症高齢者グループホーム	-	-	-	1	-	-
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)	-	-	-	1	-	-
特別養護老人ホーム(地域密着型含む)	-	-	-	-	-	-
介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-
訪問型サービス(総合事業)	-	-	-	1	-	1
通所型サービス(総合事業)	-	-	-	1	-	-

問 14 能勢町で事業を実施する際の課題は何ですか

「もっとも課題と思われるもの」は「必要な人材の確保が困難である」が 23 事業所と最も多く、次いで「車・燃料費などの経費がかかる」が 14 事業所、「利用者の確保が困難である」が 6 事業所、「2 番目に課題と思われるもの」は「利用者の確保が困難である」が 14 事業所と最も多く、次いで「車・燃料費などの経費がかかる」が 13 事業所、「必要な人材の確保が困難である」が 8 事業所、「3 番目に課題と思われるもの」は「地域区分が低い」が 7 事業所と最も多く、次いで「車・燃料費などの経費がかかる」が 6 事業所、「利用者の確保が困難である」「他事業所と競合する」「医療機関との連携が難しい」が共に 4 事業所となっています。

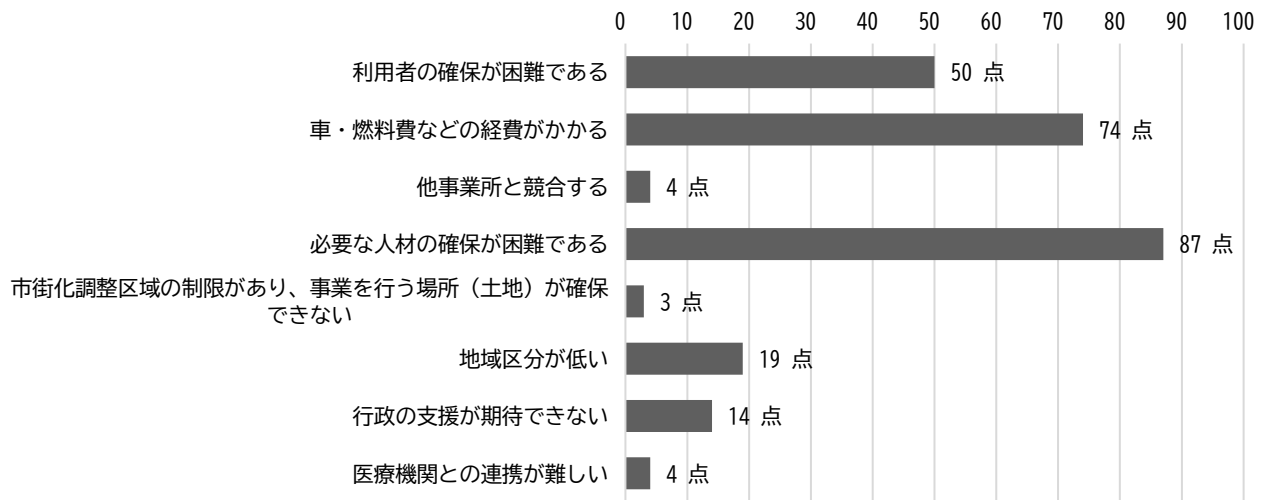


能勢町で事業を実施する際に(もっとも課題と思われるものと回答した事業所数×3)+(2 番目に課題と思われるものと回答した事業所数×2)+(3 番目に課題と思われるものと回答した事業所数×1)として得点化し、比較検討しました。

もっとも得点の高い課題は以下の通りとなっています。

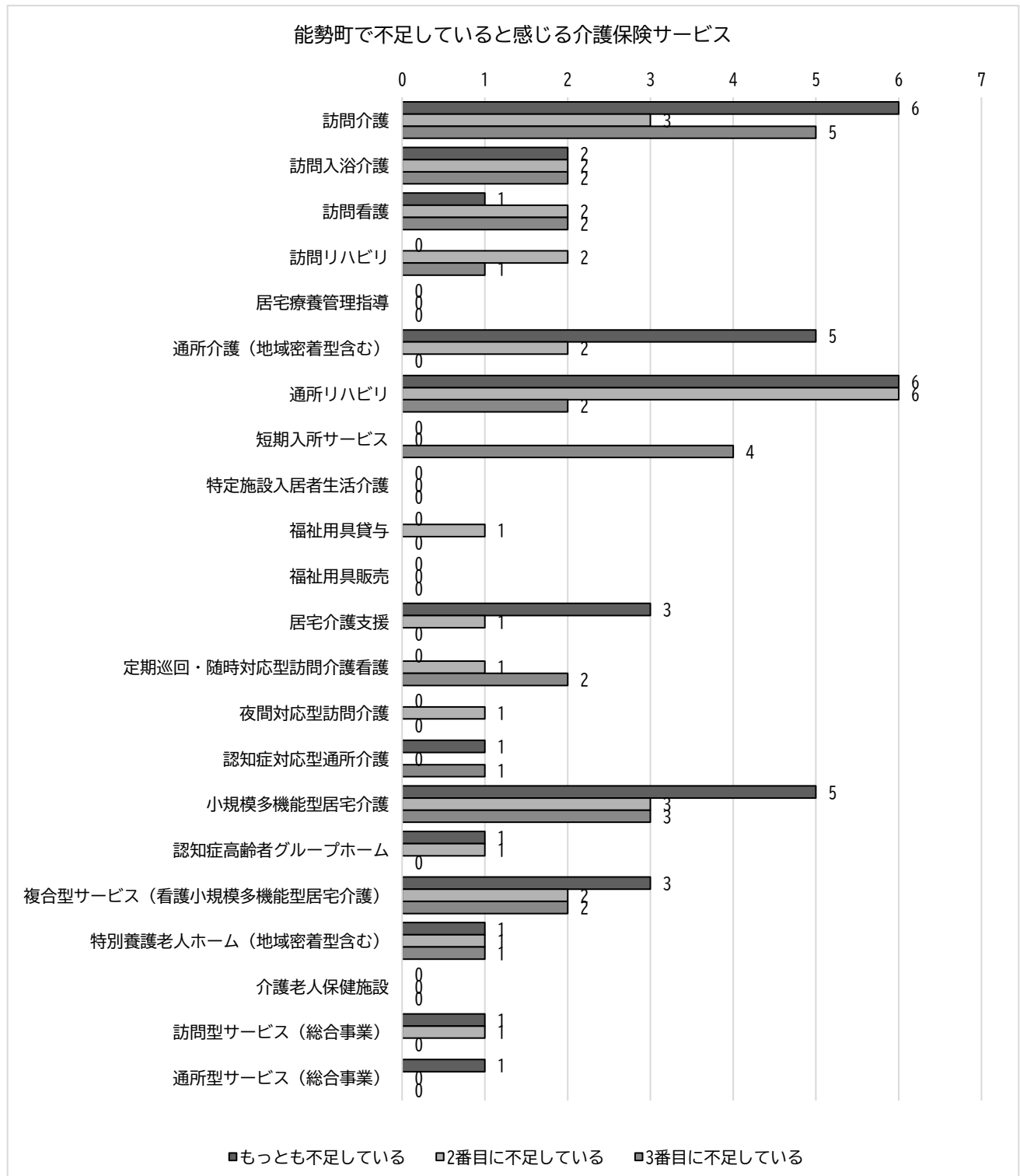
能勢町で事業を実施する際の課題	得点
1. 必要な人材の確保が困難である	87 点
2. 車・燃料費などの経費がかかる	74 点
3. 利用者の確保が困難である	50 点

能勢町で事業を実施する際の課題(得点)



問 15 能勢町で不足していると感じる介護保険サービスは何ですか

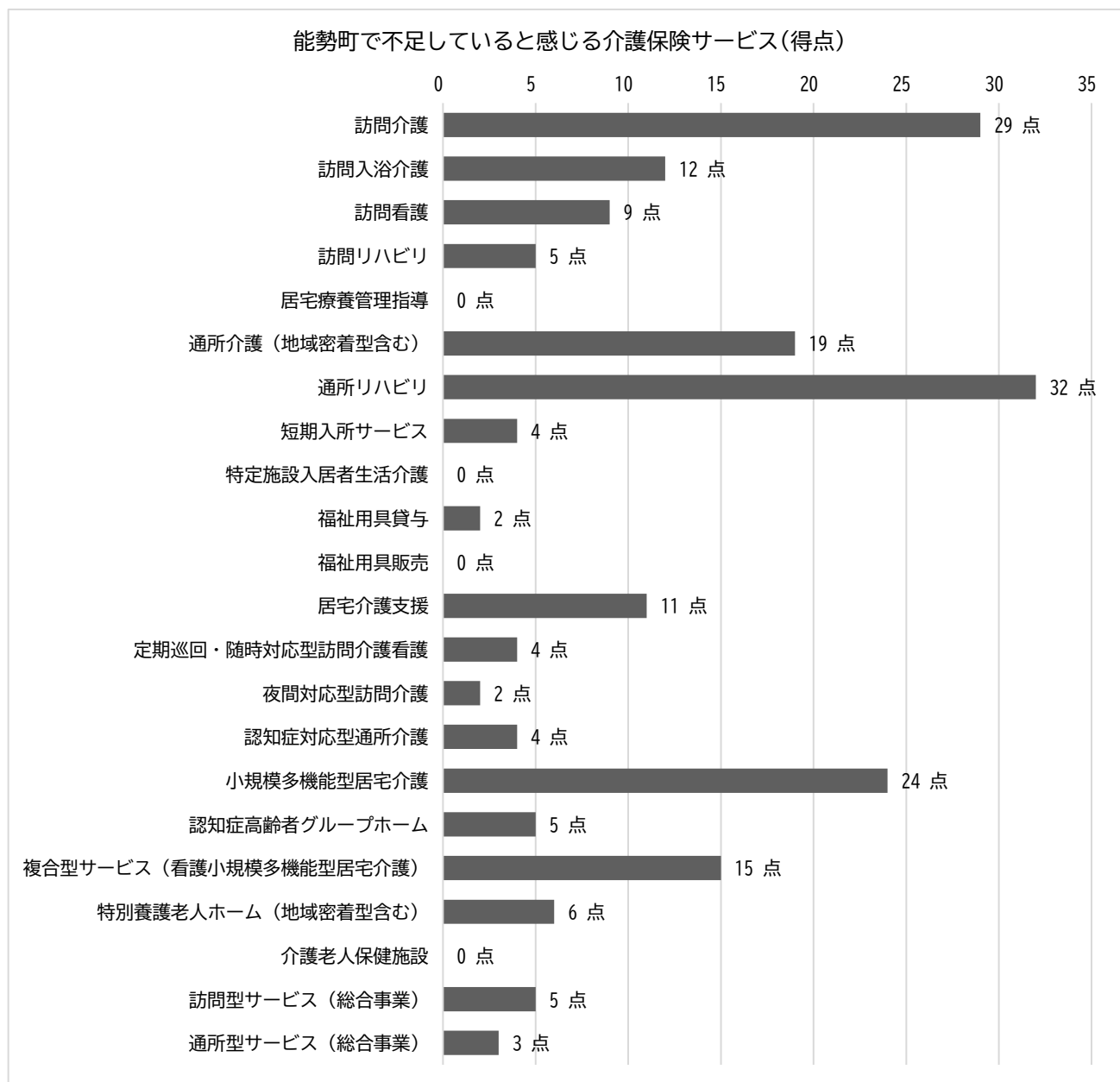
「もっとも不足している」と回答のあったサービスは「訪問介護」「通所リハビリ」が共に 6 事業所と最も多く、次いで「通所介護(地域密着型含む)」「小規模多機能型居宅介護」が共に 5 事業所、「2 番目に不足している」と回答のあったサービスは、「通所リハビリ」が 6 事業所と最も多く、次いで「訪問介護」「小規模多機能型居宅介護」が共に 3 事業所、「3 番目に不足している」と回答のあったサービスは「訪問介護」が 5 事業所と最も多く、次いで「短期入所サービス」が 4 事業所、「小規模多機能型居宅介護」が 3 事業所となっています。



(最も不足していると回答した事業所数×3)+(2 番目に不足している回答した事業所数×2)+(3 目に不足している回答した事業所数×1)として各サービスの不足度を得点化し、比較検討しました。

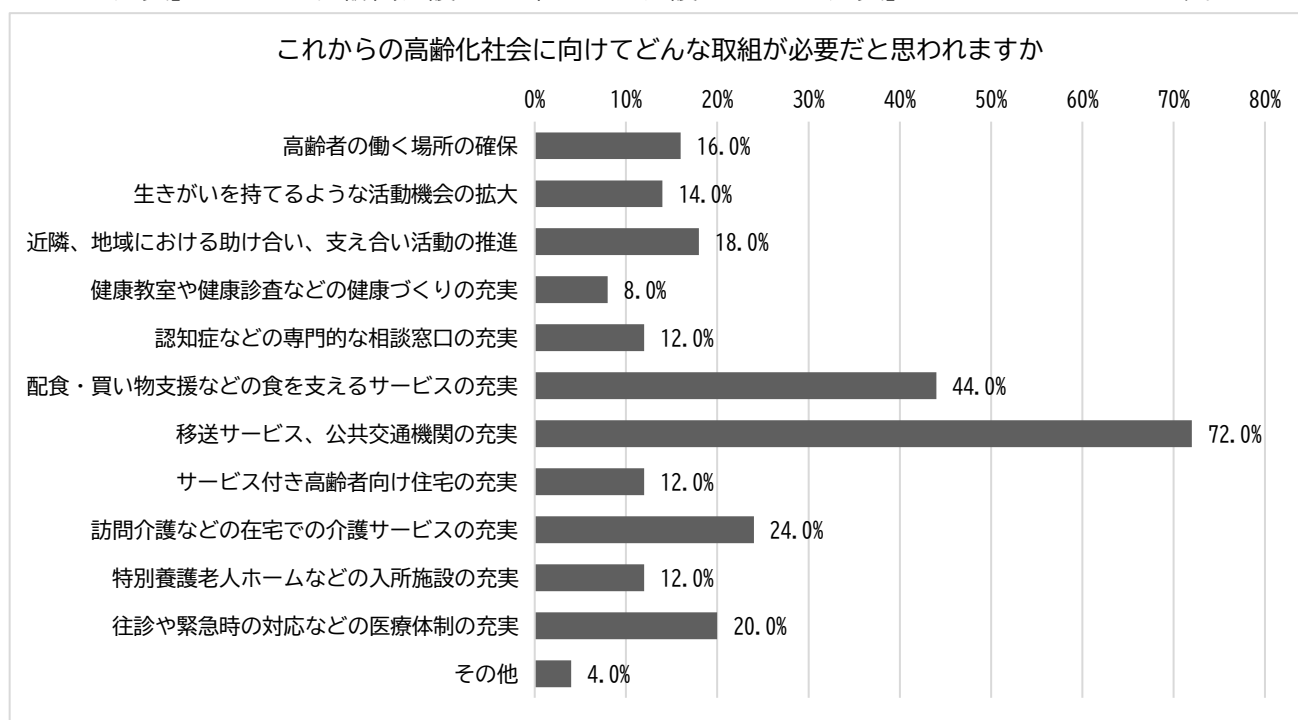
得点の高い介護保険サービスを見ると、事業所が不足していると感じる介護サービスは以下の通りです。

能勢町で不足していると感じる介護保険サービス	得点
通所リハビリ	32 点
訪問介護	29 点
小規模多機能型居宅介護	24 点



問 16 これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか

「移送サービス、公共交通機関の充実」が 72.0%と最も多く、次いで「配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実」が 44.0%、「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」が 24.0%となっています。



問 17 その他、貴事業所が事業を運営していくにあたりご意見、町への要望等がありましたらご記入ください

- 広域や町の方からいろんな情報をいただけるのはありがたいです。(メールで)ただ情報が多すぎて、本当に必要な情報(提出が必要なもの)を見逃してしまうので、わかりやすくしてほしいです。
- 人材確保が難しいので、なんとかしてほしいです。
- 町内のケアマネさんが減ると聞いているが、今後どのように確保していけるのですか。
- 訪問介護の際、町内は広いので、移動に時間もガソリン代もかかる。サポート体制があればありがたいです。
- 看護小規模多機能型居宅介護は、医療と介護を一体的に提供し、重度者や医療依存度の高い方、ターミナル期(お看とり)などの在宅生活を支える役割を担っております。特に在宅看とりや急性増悪時、介護者の急病などの受け皿として、地域包括ケアシステムの機能の一つであると認識しております。一方で現場においては、専門職の確保が難しく、医療ニーズの高まりにともない、人的・運営的負担が増加している状況です。そのため、人材的にも経営負担的にも、安定したサービス提供体制の維持に課題を感じる日々です。能勢町様への要望として、看多機が地域において持続的に機能を果たしていくためにも、人材確保に資する取り組みや、運営基盤の安定化に向けたご支援、また実態に応じた評価など、ご配慮いただけますと幸いです。また、日頃より地域包括支援センターの皆様には大変お世話になっており、地域の医療と介護体制の充実にご尽力いただいておりますこと、感謝しております。今後も地域の在宅医療・介護を支える一員として、行政の皆様・関係機関の皆様と連携しながら役割を果たしてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
- 地域密着型通所介護における町の対応や、維持するための支援、運営推進会議で出ている町への課題をど

のようにクリアしていくのかの指針を明確にしてほしい。介護保険制度における、不具合や地域からの要望を国など伝える必要がある。

- いつもありがとうございます。自治体により制度の解釈が違うため、これからも色々ご相談させていただくと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。
- いつも活動の際には快くご協力いただき助かっています。今後ともよろしくお願いいたします。
- 問題ごとが起きたときなど、丁寧に相談にのっていただいているので、問題はありません。

(3) 考察

1.介護保険事業所の抱える課題

(1)深刻な介護人材不足と、それに伴うサービス提供への支障(供給力低下)

能勢町で事業を実施する際の最大の課題は「必要な人材の確保が困難である」こと(87 点)です。職種別の不足感を見ると、「訪問介護員」で 80.0%、「介護職員」で 72.2%、「看護職員」で 68.5%の事業所が人材不足を感じています。この人材不足は実際のサービス提供にも影響を及ぼしており、過半数(54.0%)の事業所が利用者からの依頼に対して「サービス提供できなかったことがある」と回答しています。その理由として「希望された日(時間帯)に利用が集中し、対応できなかった」ことと、「新規契約を受け入れる余裕がなかった(職員体制など)」がそれぞれ 44.4%を占めており、人材の制約がそのままサービスの供給不足(辞退)につながっている状況にあります。

(2)地理的特性に起因する広域移動コストの重い経営負担

事業運営の課題の第 2 位に「車・燃料費などの経費がかかる」(74 点)が挙がっています。自由記述においても、「訪問介護の際、町内は広いので、移動に時間もガソリン代もかかる。サポート体制があればありがたい」という声が寄せられており、広大なエリアをカバーするための移動や送迎コストが、事業所の経営に負担となっています。

(3)厳しい経営状況と、赤字事業所に見られる「町外流出・撤退リスク」

全体の 34.0%の事業所が赤字傾向(「赤字」「やや赤字」の合計)にあります。赤字の理由として「利用希望が少なく利用者数が確保できていないため」と「事業所支出が大きいため」が共に 47.1%を占め、2 大要因となっています。赤字経営の事業所の今後の方向性として、「能勢町外に事業所を新しく開設することを検討している」が訪問介護(2 事業所)や訪問看護(2 事業所)等で見られ、さらに「休止もしくは廃止する」を検討する事業所も訪問介護(2 事業所)等で挙げられていることです。こうした厳しい経営状況や人材難が、本町からの事業所の「町外流出」や「撤退」というサービス供給体制の縮小リスクにつながる可能性となっています。

2.サービス供給体制整備に向けた検討課題

(1)不足している在宅系・地域密着型サービスの基盤強化

町内で不足していると感じる介護保険サービスは、「通所リハビリ(32 点)」が最も高く、次いで「訪問介護(29 点)」、「小規模多機能型居宅介護(24 点)」の順となっています。特に訪問介護については、先述の通り人材不足の割合が最も高い職種である上、休止・廃止や町外進出を検討する事業所も確認されています。

(2)行政主導による実効性のある人材確保・育成支援の強化

事業所が人材確保のために行っている取組のうち、効果が高かったのは「職員や関係者から知人を紹介してもらう(55 点)」や「民間の求人 web サイトを活用する(46 点)」でした。一方で、人材確保・育成に関して町に

取り組んでほしいこととして、「研修の実施(42.0%)」、「資格取得時の費用負担の支援(32.0%)」、「介護現場で働く魅力の発信(26.0%)」が求められています。事業所単独の採用努力には限界が生じているため、人材確保や資格取得費用の助成等、行政が主導する形での実効性のある支援が必要です。

(3)サービス利用を支える「移動支援・生活インフラ」の整備

これからの高齢化社会に向けて必要な取組として、事業所の視点からも「移送サービス、公共交通機関の充実」が 72.0%と圧倒的に多く挙げられています。次いで「配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実」が 44.0%となっています。介護サービスを提供するだけでなく、利用者がサービス(通所系サービス等)に安全にアクセスし、在宅生活を継続するための地域生活インフラとセットで供給体制を強化していくことが重要です。